



キツツキサロン活動報告

今回のテーマ「子どものお金の使い方」

キツツキが
いっぱい
だったよ!



11月14日(木)に行われたキツツキサロンには、14名の保護者の方が参加してくださいました。子どものお金のことについて、率直な困りごとや家庭ごとの工夫など、いろいろな話をすることができましたので、内容の一部をピックアップしてご紹介します!

Q. 子どものお金、困ってることある?

**渡し方・額・使い方など、
たくさん困りごとがある**

年齢の違う兄弟でのおこづかいの渡し方、おこづかいの額、子どものお金の管理をどこまで親がやるか、お金の使い方をどうやって教えるか、遠出や外出時の特別なおこづかいはどうするか、友達に何かもらったときのお返しは、友達に何かをおごってしまったら...など、いろいろな悩みが挙げられました。

Q. おこづかいの額や渡し方は?

**高学年からおこづかい制
スタートが主流、
家庭ごと様々なルールあり**

毎月おこづかい制は主に高学年から運用している家庭が多かったです。月額の実例は、学年×100円、年齢×100円、1000円でした。月額ではなく、一年分まとめて渡す、必要な時にその都度渡す、親から渡さずもらったお年玉をその年のおこづかいにする、という例もありました。低学年の場合、まだあげていない、という家庭も。

Q. おてつだいへの対価について、 どう思う?

**労働とお金結びつくと
むずかしい!**

「お手伝いをしたらお金を渡していたら、子どもがだんだん金額ばかり気にするように。手伝いをするたび『今いくら?』とお金のことばかり気にしてうまくいかなかった」という話に参加者はうなずくばかり。「決めてしまうと、子どもはお金がもらえないとやらなくなってしまうので、必ずもらえるわけではないと知ることが大事では」という意見も出ました。

Q. おこづかいのルールはある?

**家庭ごと管理のルールは
きっちりからゆるめと様々**

きっちりした家庭では「おこづかい帳を記帳させ、毎月チェック。帳尻が合わないと翌月のおこづかいがもらえないようにしている」等ルールを設けていました。他にも「高額の欲しいものはおこづかいから貯金して貯めた分はいつ使ってもいいことにしている」なども。使い道は本人に任せていて、それほど親がタッチしていない、というご家庭も多かったです。

当日はお話する人、
聞くだけの人もい
たし、途中退席も
OKだったよ



保護者語録

同じ行動に必ず対価を出すよりは、手伝うことで相手が対価を払いたい気持ちになるともらえる、という事を知ることが大事

お金はありがたいの対価

お金の使い方について、子どもがすぐに親に相談できる環境づくり

教育という点では、親の消費マインドが影響すると思う。

兄弟でも性格の違いでお金の管理がまるで違う。その子その子に合わせた対応も必要

親がお金を管理しすぎない、お金を使いすぎても練習だと思って見守ることも必要。お金についてわからないと、漠然とした不安が大きくなる

親のお金の使い方が大切、子どもも親を見ている

家庭によってやり方は違ってよいと思う

いろんな考えに触れることで親も新しい道のキツキのきっかけになるかもね！



いろんな答えがあることだし、みんなで方法や考えを共有して考えたいね




どこの家庭も悩み事いっぱいだったね


会では他にも友達付き合いのお金のことなんかも話題になったよ





サロンを終えた直後の感想


 参加してよかった


 いろいろ聞いてこれからの参考にしたい

 買いすぎていたかなと反省

 為になることが聞けて良かった

 みんなも悩んでいるなど。一緒に悩んでいきましょう

 子どもが1年生なのでまだこれからですが参考になりました

 細かい人はいろいろやってるんだなあ…私にはできないなあ(笑)



サロン立ち上げメンバーより

このサロンが定着できるように努めて参ります！

次回のキツツキサロンも開催計画中！お楽しみに！